

平成7年度講習会テキスト

耐震・地震防災の基礎

平成7年12月



社団
法人

土木学会関西支部

登 録	平成 8年 7 月 29 日
番 号	第 44200 号
社団 法人	土 木 学 会
附属	土 木 図 書 館

あ い さ つ

近年、我が国を取り巻いて非常に大きな地震が頻発しています。

1993年の釧路沖地震以来、北海道南西沖地震、北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震が起り、そして今年1月に起こった兵庫県南部地震は神戸市を中心とした阪神間の近代諸都市を直撃しました。兵庫県南部地震によって、この地域では基幹的な社会基盤施設である高速道路や鉄道、ライフラインをはじめ、護岸・岸壁等の海岸構造物や埋立地、河川堤防等、各種の土木構造物が極めて甚大かつ激しい被害を受けました。

我々土木に携わる者は、この惨事を極めて重大かつ厳粛に受けとめるとともに、これらの震災被害からできるだけ多くの教訓を導き出し、今後の起こりうる震災における被害を最小限にする責務があることから、この未曾有の地震に関して、その実状を明らかにし、今後の耐震設計あるいは防災計画に反映するべく、土木学会をはじめ、個々の研究者・技術者および業務機関の多くにより学術的調査・分析・研究が現在精力的に進められています。

しかしながら、検討すべき分野は地震動の特性、地盤の応答、各種構造物の応答と被害およびその対策、復旧・復興過程、防災対策等、広範にわたり、それぞれの内容も極めて複雑かつ詳細なものであり、解決すべき課題は膨大であるため、構造工学や耐震工学の研究者や技術開発に携わる一部の土木技術者にのみ委ねておくべきものではありません。すべての土木技術者が、これらの課題を認識し、真剣に取り組み、安全な国土の建設と土木技術への信頼回復に努めることが非常に重要であります。

そこで、(社)土木学会関西支部では、耐震および地震防災にまつわる基礎的な知識と考え方を中心に、広範でかつわかりやすい講習会を企画致しました。各種土木構造物の設計あるいは施工に直接携わっておられる方をはじめ、若手技術者の方々の参考となり、地震あるいは耐震・地震防災に関する知識向上のための一助となれば幸いです。

平成7年12月

(社)土木学会関西支部

支部長 白石 成人

「耐震・地震防災の基礎」講習会

1. 期 日：1995年12月8日（金） 9：50～16：50

2. 場 所：建設交流館8F グリーンホール ☎ 06-543-2551
大阪市西区立売堀2-1-2 地下鉄四ッ橋線本町駅23番出口より徒歩5分

3. 題目と講師：

9:50～10:00 開会の挨拶

（社）土木学会関西支部 支部長

白石成人

10:00～10:50 I 断層と地震動

（財）大阪土質試験所 阿波座事務所 技術5部 課長

香川敬生

10:50～11:40 II 振動と応答スペクトル

京都大学工学部土木工学科 助手

澤田純男

13:00～13:50 III 地盤の耐震

立命館大学理工学部土木工学科 助教授

早川 清

13:50～14:40 IV 橋梁の耐震

立命館大学理工学部土木工学科 助教授

伊津野和行

15:00～15:50 V 地下構造物の耐震

関西電力(株)土木建築室 副部長

松本正毅

15:50～16:40 VI 都市防災計画

神戸大学工学部建設学科 講師

富田安夫

16:40～16:50 閉会の挨拶

（社）土木学会関西支部 副支部長

芦見忠志